

【あらすじ】

3年前、ミュとヒナタは一緒に夢を叶える約束をした。しかし…

アサヒは夏休みに、母・サキコと旅行に出かける。旅行先のペンションは辺り一面緑ばかりのひっそりとした山奥にあり、アサヒはあてもなく山の中を探索することにした。

しばらく散策をしていると、人目のつかないような場所に、似つかわしくない立派なひまわり畑を見つけ、そこでヒナタという3年前に事故死している少女と出会う。アサヒとサキコが泊まるペンションのお手伝いをしている高校3年生のミュはヒナタのいとこであり、ヒナタの死をきっかけに「画家になる」という夢を諦めかけている。

アサヒはミュの部屋で、ある一つの作品に触れようとする、ミュはひどく怒った。その絵はヒナタをモデルにしていたが、ヒナタの死により未完成のまま放置されていたものだった。一方ヒナタは、その絵を完成させてほしいと強く願っている。アサヒもミュの夢を懸命に応援したいと思っていた。ミュの塞ぎ込んだ心をアサヒがこじ開け、素直になったミュの目の前についにヒナタが姿を現す。ひまわり畑で再会した二人は、三年前守れなかった約束を再び交わすことになるのであった。

【求める世界観】

透明、爽やか、眩しい、懐かしい、切ない、寂しい、感動、心温まる、友情、家族愛・・・